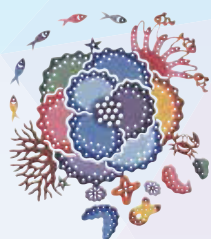


文部科学省科学技術人材育成費補助事業

ダイバーシティ研究環境実現
イニシアティブ(先端型)
事業報告書 **令和5年度**

国立大学法人琉球大学ジェンダー協働推進室

UNIVERSITY OF THE RYUKYUS
GENDER EQUALITY
PROMOTION OFFICE



女性研究者の上位職登用推進及び管理運営能力向上のための取組

◆ 先端事業目標、数値目標の推移報告

「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）」事業

琉球大学は令和元年度に文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）」に採択され、令和6年度までの実施期間、下記の目標を掲げ、達成に向けて「女性研究者の上位職登用推進及び管理運営能力向上のための取組」、「より広いダイバーシティ研究環境形成のための取組」、「若手研究者・次世代育成のための取組」等を進めています。

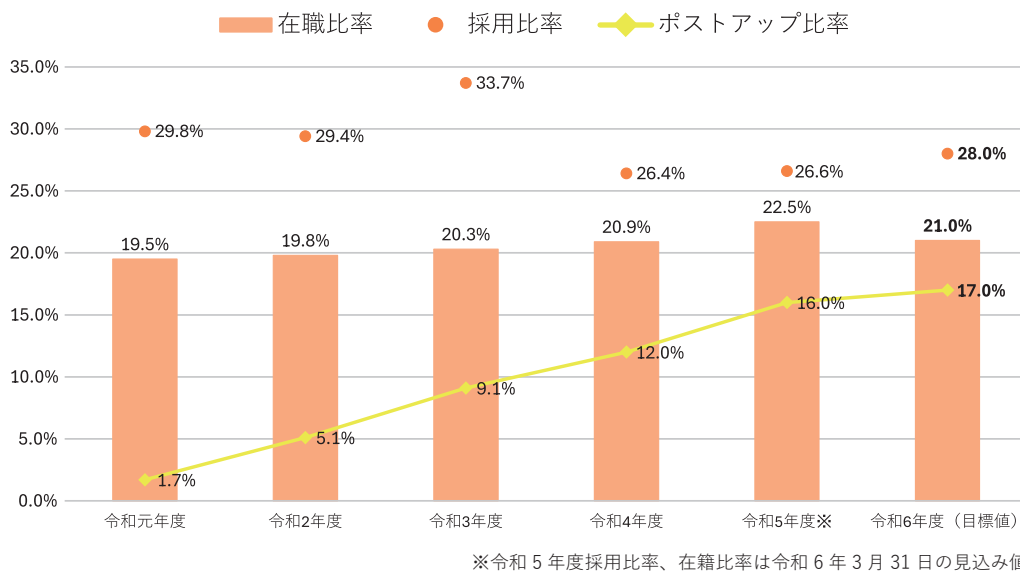
目 標

- I 女性教員の管理運営能力を高め、大学の中核への女性教員の参画を推進する
- II 女性を含む若手研究者の在職率を高めるとともに、キャリアパスを整備する
- III より広いダイバーシティ研究環境形成の観点から、グローバル人材を積極的に採用・登用する

数値目標

- ・女性研究者の採用比率 28%
- ・女性研究者の在職比率 21%
- ・女性研究者のポストアップ比率 17%以上
- ・本務教員全体における40歳未満の割合 20%以上

図：琉球大学女性研究者の在職・採用・ポストアップ比率と目標値



◆ 教員採用におけるダイバーシティ推進チェックリストの導入

教員選考内規を改訂し、令和5年度8月下旬より、教員採用公募において教員選考調書作成委員会委員長が提出する報告書類の一つとして、「教員採用におけるダイバーシティ推進チェックリスト」を導入しました。

◆ 重点改革推進枠（教員ポスト戦略的再配分）

令和5年度においても、これまでと同様に教員ポスト戦略的再配分（重点改革推進枠）を活用した女性教授限定公募を実施し、公募に向けて学内実施部局等の募集を行いました。今年度は、熱帯生物圏研究センターが採択され、現在公募を開始しています。

また、産前産後・育児・介護休業を取得する教員ポストに対する非常勤教員雇用枠の活用も進んでいます。

◆ オーガナイザー養成支援 ～オーガナイザー養成支援がもたらしたもの～

女性研究者の研究力と管理運営能力の向上を推進することを目的とした「オーガナイザー養成支援」を実施しました。

採 択 者 田中 厚子 助教（理学部）

令和5年度のオーガナイザー養成支援を受け「第11回植物イメージングの会」を琉球大学にて開催致しました。本会は植物学分野の中でも特にイメージング（画像撮影・解析）を主な研究手法として用いる研究者の有志によって創設され、東京大学・名古屋大学・基礎生物学研究所・理化学研究所など植物のイメージングを牽引する研究者が集う研究会です。イメージング設備の整った都市部の国立大学や研究所で開催されていたこの会が、今回初めてイメージング設備発達途上である本学で開催されることになり、主催者として大変なプレッシャーを感じておりました。しかし今回のご支援を受け、プログラムにフィールドワークを追加、琉大の植物学を特徴づける「自然」を体験できたことで、参加者の皆様からとても高い評価を頂くことができました。また、現在本学で共同利用施設として整備が推進されて「顕微鏡室」の管理者・主要ユーザーの先生方にもご参加頂き、施設の拡充や管理運営についての意見交換を行ったことは、本学の共有施設拡充に向けて大きな財産になったと思います。

このように今回のオーガナイザー養成支援は、参加者には沖縄の自然を、大学には先駆者からの助言を、そして主催した私には研究面での新たな繋がりとおrganайザーとしての経験を与えてくれた大変にありがたいものでした。この場をお借りして心から感謝申し上げます。



◆ 国際学会派遣 + 1 Visit

女性研究者の研究力と管理運営能力の向上を推進することを目的とした「国際学会派遣+1 Visit」を実施しました。

採 択 者 加瀬 保子 准教授（国際地域創造学部）

国際学会派遣 +1 Visitを利用していただき、1月4日～1月7日にフィラデルフィアで開催されたModern Language Association (MLA)の年次大会に参加し、その後1月8日にカリフォルニアのストックトンにあるパンフィック大学に移動し、管理運営について学ばせていただきました。

MLAでは、「Biopolitics, War, Medicine」というパネルセッションをオーガナイズし、司会と発表も行いました。同じ分野に興味を持つ研究者と現地で直に意見交換ができ大変嬉しく思いました。また、学会会場では多くの大学出版社が集うBook Exhibitionも行われ、新たな研究の動向を知ることができました。

パンフィック大学では、English Departmentの学部長であるDr. Zhou Xiaojingを訪ねました。Dr. Zhouはアジア系アメリカ人の女性ですが、白人男性教員の多いキャンパスで、Ethnic Studies Programの初代ディレクターとしてプログラムを立ち上げ、リードされてきました。プログラムのカリキュラムの整備、予算の確保、キャンパス内でのプログラムの認知度促進など、様々な苦労がありましたが、Ethnic Studiesのコースを履修した学生たちはそれぞれのアイデンティティを見つめ、自分のキャリアに活かしていったそうです。将来、自分自身がリーダーシップを発揮しなくてはならない場面が出てきましたら、Dr. Zhouから得たインスピレーションを活かしていきたいと思っております。



◆ 国際学会派遣費用補助制度

女性研究者の研究力向上を推進を目的とし、「国際学会派遣費用補助制度」を実施しました。

採 択 者 金藤 多美子 講師（国際地域創造学部）

派遣先： コラボラティブ・アクション・リサーチ・ネットワーク年次国際大会（英国マンチェスター）

◆ ゆんたく de スクブン

本学独自の様々な「スクブン」を共有・蓄積する研修を通し、多様な教職員が繋がり、学びあい、支えあえる職場環境の実現を目指し、令和3年度より「ゆんたく de スクブン」シリーズを開始することといたしました。沖縄のことばで、「ゆんたく」はざっくばらんに楽しく話をする事、そして「スクブン」とは、職分や使命、役割を意味します。このシリーズを通し、本学ならではのスクブンを蓄積し、メンタリングやスキルアップ等、様々な支援へ繋げる予定です。

【開催日】

令和5年11月22日

● 第1回 代理職のお悩み相談所

令和6年3月14日

● 第2回 メンタリングセミナー 「マンスプレイング」を考える

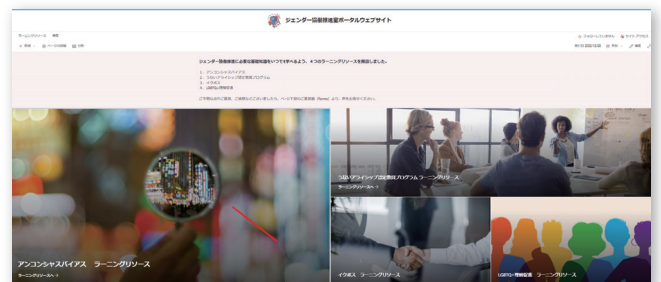
ゲスト講師：専修大学 ハーン小路 恭子 教授



◆ アンコンシャスバイアストレーニングを含む学内向けラーニングリソースの開設

アンコンシャスバイアスを考える動画コンテンツを紹介する、学内向けのラーニングリソース（オンライン）を開設いたしました。これにより、本学の教職員はいつでも専用ウェブサイトへアクセスし、アンコンシャスバイアスについて学びを深められるようになります。

また、LGBTQ+理解促進のための動画コンテンツ集、イクボスやアライシッププログラムに係る動画コンテンツも併せて公開しました。ラーニングリソースの積極的な活用が期待されています。



◆ ダイバーシティ推進セミナー

ゆんたくdeスクブン第1回「代理職のお悩み相談所」で共有された学内の課題にヒントを得て、外部講師を招いてダイバーシティ推進セミナーを実施いたしました。午前中、参加者は、リーダーシップ・マネジメントのそれぞれの特徴を理解し、職場で期待されている役割について学びました。午後は、多様性が発揮される中で生じるコンフリクト（衝突、不一致、対立）メカニズムについて理解を深めました。

【開催日】

令和6年3月15日

● 第1部 リーダーシップ・マネジメント概論研修

● 第2部 DE&I促進のためのコミュニケーション概論研修

講師：浦 亜弓氏

本学理学部科学教育系人材育成機構事務局「ダイバーシティ研究推進実務インテグレイティブ（先地型）」

令和5年度 ダイバーシティ推進セミナー（FD・SD研修）

講師 浦 亜弓氏

ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン（DE&I）を推進し、教職員一人一人のリーダーシップ・マネジメントスキルを向上することは、大学の発展には不可欠です。DE&I推進及び大学マネジメントに必要不可欠なスキルを提供する2つのセミナーを開催します。どちらか一方、あるいは両方への参加も可能です。

日程：令和6年3月15日（金）
 第一部：9時～12時
 第二部：13時～15時
 対象：本学に所属するすべての教職員
 定員：各部30人
 場所：地域国際学習センター（講義室 3階301号室）

申込URL

第一部 リーダーシップ・マネジメント概論研修
 時間：9時～12時
 ※主に中間管理職層を想定した内容となります。応募者多数の場合は、代理職及び係長職層を優先します。

【概要】 人を率いるとは、組織において周囲に影響を与え、結果を出すことが求められます。そのためには、指示を出すだけでなく、メンバーの力を引き出し、成長を促すリーダーシップが求められます。このセミナーでは、リーダーシップの概念について理解を深め、ご自身や、所属する組織に落とし込むことができますよう、学びを深めます。

第二部 DE&I推進のためのコミュニケーション研修
 時間：13時～15時

【概要】 様々な多様性（違い）が発揮されると、衝突、不一致、対立（コンフリクト）が増加します。しかし、それを超えてしまうと、多角的に検討し、多様な価値観を反映させた「最善解」を導き出すことはできません。会議などの場でも、コンフリクトを恐れず、多様な意見を出し合い、課題解決に向けて協働するスキルを学びます。

主催：理学部科学教育系人材育成機構事務局
 TEL: 098-855-8675 (FAX: 098-8675) E-mail: gender@ucu-nyukyuu.jp

より広いダイバーシティ研究環境形成のための取組

◆ 第17回琉大未来共創フォーラム × ダイバーシティ推進トップセミナー

沖縄科学技術大学院大学（OIST）の協力を得て、OISTのカリン・マルキデス学長兼理事長を講師にお迎えし、「DE&Iの本質 大学の課題と挑戦 - The Essential Roles of DE&I Challenges and Opportunities for Universities」を完全オンライン（日英同時通訳あり）で開催しました。豊富なリーダー経験を持つマルキデス学長の講演を聞きたいと、沖縄県内、県外、海外から140名以上の参加がありました。開催報告の詳細は、ニュースレターよりご確認くださいませ。

※DE&I=Diversity, Equity, and Inclusion



【開催日】 令和5年12月4日

講師：OIST カリン・マルキデス学長兼理事長

◆ スキルアップセミナー

令和5年度スキルアップセミナー「AI時代に採択される英語論文の書き方—人工知能（AI）ツールを最大限に活用して文献レビューをパワーアップさせよう！」を開催いたしました。それぞれのツールの特性を活かしながら、AIへどのような質問を投げかければ思うような答えが返ってくるのか、質問と関連する文献をどのように探せばよいのか、実際にツールを体験しながら学びを深めました。



【開催日】 令和6年1月12日

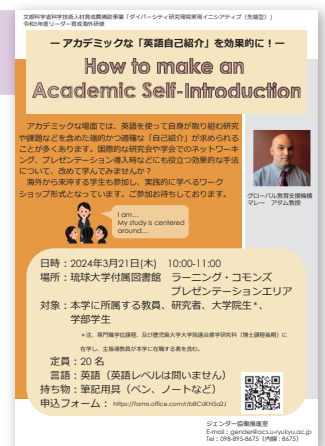
講師：リンクサイエンス代表 川上 輪子氏

◆ リーダー育成海外研修

琉球大学世界展開力事業と協力し、リーダー育成海外研修「How to Make an Academic Self-Introduction」を開催いたしました。アカデミックな場面において、英語で端的かつ的確に自己紹介を行う、ということは、国際的な研究会や学会などにおけるネットワーク構築には不可欠です。参加者はそのような「最初の一步」をどうすれば効果的に行えるのか、実践形式で学びました。また、本事業は若手研究者及び次世代女性研究者育成も兼ね、本学の学生らにも参加を呼びかけました。

【開催日】 令和6年3月21日

講師：琉球大学グローバル教育支援機構 Adam Murray 教授



◆ アライシッププログラム

マジョリティが自身の置かれた立場性を理解し、マイノリティが抱える課題に目を向け、ジェンダー協働のために力を発揮することを目的としたプログラムを立ち上げました。参画する教職員グループは、アンコンシャスバイアスやアライシップについて学び、各自の領域でジェンダー協働を目指すことが求められます。

令和5年度参画グループ：数理・データサイエンス・AI教育推進室

- ジェンダー協働推進室より女性を1名、数理・データサイエンス・AI教育推進室員へ任命し、協力体制を強化。
- 令和6年3月28日～令和6年5月10日まで、琉球大学附属図書館において企画展を共催。展示の一部に、データサイエンス・AIに影響を及ぼすアンコンシャスバイアスやジェンダーバイアスをテーマとしたパネルを作成し、関連書籍を紹介
- ダイバーシティ推進のためのアンケートの協力実施等、今後も継続した連携活動を実施予定。

若手研究者・次世代育成のための取組

◆うない奨励賞

琉球大学に在籍する女子学生*に対し、その意欲的な研究活動や社会貢献等の活動を奨励し、継続的に研究に取り組む動機付けにしてもらうために、琉球大学女子学生学術研究等活動うない奨励賞を授与しています。本賞を通じて将来の学術研究を担う優秀な若手女性研究者および未来社会を牽引する女性リーダーの育成に繋げ、男女共同参画及びダイバーシティの推進等に資することを目的とし、今年度は下記の学生に授与することと致しました。

*本賞においては、応募者が自認する性を以て「女子学生」と定義する。

受賞者

KIM HYOJINさん

(人文社会科学部 比較地域文化専攻 博士後期課程3年次)



◆琉球大学岸本遺贈基金「女子大学院生対象グローバル人材育成事業」

岸本遺贈基金寄附金事業において、本学の女子大学院生を海外の教育研究機関等に派遣しています。受入れ先研究者の指導の下、国際的な研究環境におけるリサーチに携わり、異文化の学修環境に触れ、多様な学問文化を経験することで、優れた研究成果の発表に結びつけるとともに、スキルアップやモチベーションの向上を図り、グローバルに活躍する次世代の女性研究者を目指す契機とするものです。

厳正なる審査の結果、今年度は、下記3名の学生の派遣が決定しました。

- 林 桃子 (法務研究科 法務専攻)
- 伊是名 理子 (法務研究科 法務専攻)
- 我如古 実希 (法務研究科 法務専攻)

◆附属図書館企画展「国際ガールズ・デーから考える学びの機会」

琉球大学附属図書館との共催による企画展「国際ガールズ・デーから考える学びの機会」を、令和5年10月10日(火)から10月31日(火)までの間、琉球大学附属図書館本館2階ラーニング・commonsにおいて開催しました。ジェンダー協働推進室からは、令和4年度に「琉球大学女子学生学術研究等活動うない奨励賞」を受賞した大学院生及び「岸本遺贈基金寄附金グローバル人材育成事業」を利用した大学院生より、研究活動や後輩に向けたメッセージを展示しました。



◆令和5年度 研究活動等支援員制度

出産・育児や介護等、ライフイベント中の研究者に対し教育研究支援を行うため、研究活動等支援員を雇用し、配置しました。ワークライフバランスを保ちながら研究者が能力を最大限に発揮できる環境を整備することで、研究力の向上のみならず大学の管理・運営や社会貢献に積極的に携わる人材を育成することを目的としています。また同時に、支援員として学部学生・大学院生を雇用することにより支援員自身がキャリアパスを考える機会となるよう、本制度の活動を通して次世代の研究者育成にも努めています。支援員となった学生の中には、大学院(修士課程・博士課程)への進学や海外留学、起業し県内・地域のための活動を展開するなど、支援員としての経験を活かし活躍しています。

■支援内訳(人)

	第1期	第2期
利用者(教員)	5	6
支援員	8	9

◆令和5年度「育児サポート・サービス及び病児・病後児保育利用料補助事業」および「女性研究者介護帰省費用補助事業」

本学の教職員の仕事と家庭生活の両立を支援するため、育児支援におけるサポート・サービスを利用する場合の利用料の一部を補助する「育児サポート・サービス及び病児・病後児保育利用料補助事業」及び本学の女性研究者が介護を目的とした帰省に際して、航空券を購入する場合の費用の一部を補助する「女性研究者介護帰省費用補助事業」を実施しました。

■支援内訳(人)

	育児サポート・サービス及び病児・病後児保育利用料補助事業	女性研究者介護帰省費用補助事業
利用者	3	3

●ニューズレター

ニューズレターの発行やジェンダー協働推進室HPを通して、本事業の取組について情報発信及び報告を行っています。(令和6年2月発行)

<https://gender.skr.u-ryukyu.ac.jp/sentan/newsletter/>



●先端型HP

文部科学省ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ 女性研究者研究活動支援事業(先端型)に係る情報は下記のウェブサイトからご確認いただけます。

<https://gender.skr.u-ryukyu.ac.jp/sentan/>



国立大学法人琉球大学 ジェンダー協働推進室

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
e-mail : gender@acs.u-ryukyu.ac.jp
電話 : 098-895-8675 (内線 : 8675・2675)
<https://gender.skr.u-ryukyu.ac.jp/sentan/>

